



< 大地震想定引き渡し訓練 2026年1月17日 実施 >



今回の訓練は、保護者の方も参加していただく訓練となりました。訓練の前には保護者の方に体育館に集まっていただき、どういった場合に児童生徒を引き渡すことになるのか、引き渡しの手順等を説明しました。その後、学校からの連絡を受け、各教室へ向かっていただきました。引き渡しの際に、引き渡し確認カードや身分証等を失念するトラブルもありましたが、大きな混乱なく訓練を行うことができました。

訓練後の教員アンケートでは、引き渡しの仕方をもっと分かりやすく周知できないかなどさまざまな課題がありました。今後より良い訓練となるよう改善していきたいと思っております。

お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

～引き渡し訓練の様子～



○職員感想

- ・子どもたちにとっては引き渡し訓練についてよく分からないままのような気がしたので、2校時は地震についての学習をするなど少し何か繋げていければより良いと感じた。
- ・迎えに来た保護者が教室まで入ってこず廊下で待っている状態だったのでこちらから声を掛けた。実際を考えると保護者から声を掛けてもらう方が良いかもしれない。
- ・保護者の方々ができるだけ長尾駅方面から進入して一方向に車が流れるような引き渡し訓練が、今後できると良い。

＜ 家庭での備蓄品について ＞

地震などの大きな災害が起こると、物流が止まりお店などから食料品等の確保が難しくなります。そこで、日ごろから食料品等の備蓄をしておくことが望ましいとされています。



○備蓄品の目安

一般的に言われていることは、**最低3日分**できれば1週間分の食料品の備蓄が必要とされています。

例) 大人2人／1週間分の目安



★必需品

水:2L×6本×4箱(1人1日およそ3L程度)

カセットコンロ・ボンベ:12本

★主食

米:4kg カップ麺類:6個 パックご飯:6個 乾麺:そうめん600g、パスタ1200g

★主菜

缶詰(肉・魚):18缶 レトルト食品:牛井のもとやカレー等18個、パスタソース等6個

★副菜等

日持ちのする野菜、調味料、梅干しやのり、即席スープ、菓子類

○本校の食料備蓄品(R8.3.19現在)

★本校最低備蓄目標数値

○水:1日当たり「500ml×3本」を3日分備蓄する。

@最低目標数値 約2160本 「約240人×3本×3日分」

現在約2200本



○食料品:1日当たり「1食もしくは1袋」を3日分備蓄する。

@最低目標数値 約720食 「約240人×1食×3日分」

現在約960食

○備蓄水についてのアンケート結果

本校で保管している防災備蓄品のうちに賞味期限が近くなった、保存水について入れ替えることになりご家庭でご試飲いただきました。そのアンケート結果をお知らせします。

◎試飲について・・・特に大きな問題はありませんでした。美味しいといった感想やいつもの水と変わらずに飲めた、料理に使ったなどよい意見をたくさんいただきました。

◎その他の備蓄品について

本校は食料品以外にも LED ライトや簡易トイレ、紙の食器、カプセルテントなど日用品の備蓄を行っています。マスク等の衛生用品は備蓄を今後検討していきたいと思えます。個別に必要な支援グッズやおもちゃなどは、個人用の非常用袋を用意・活用していただけたらと思えます。